



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 豊田 剛志 TEL 0544-58-9080  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	61,810	9.4	△854	—	△599	—	△958	—
2021年3月期第3四半期	56,514	△29.5	△316	—	△175	—	△498	—

（注）包括利益 2022年3月期第3四半期 856百万円（-%） 2021年3月期第3四半期 △1,208百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△50.13	—
2021年3月期第3四半期	△25.90	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	76,437	33,281	43.5
2021年3月期	74,536	32,911	44.2

（参考）自己資本 2022年3月期第3四半期 33,281百万円 2021年3月期 32,911百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	3.5	△500	—	△500	—	△1,300	—	△67.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	19,410,000株	2021年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	291,497株	2021年3月期	289,889株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	19,119,498株	2021年3月期3Q	19,265,185株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内外の経済は、新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」という。）感染拡大に伴う半導体を中心とした部品供給の停滞が長期化しており、自動車は継続的な減産となっております。依然としてその解消時期が見通せないことから、自動車業界の先行きは不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、当第3四半期連結会計期間においては、長期化する半導体供給不足の影響等により前年同期に比べ減収減益となり、厳しい状況が続いております。当第3四半期連結累計期間においては、売上高は、主に第2四半期までの北米及び中国での新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により前年同期比9.4%増の61,810百万円となりました。損益面では、第2四半期までの増収影響及び合理化効果はあるものの、半導体供給不足による直前での大幅減産により適切な生産体制の確保が困難であったことや、コンテナ不足による海上輸送費の高騰、市況変動に伴う樹脂原料の値上げ等により営業損失は854百万円（前年同期は316百万円の営業損失）、経常損失は599百万円（前年同期は175百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は958百万円（前年同期は498百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① 日本

国内の売上高は、新型コロナ感染拡大影響からの復旧はあるものの、半導体供給不足の影響等により19,767百万円と前年同期に比べ285百万円（△1.4%）の減収となりました。セグメント損失は、1,845百万円（前年同期は1,080百万円のセグメント損失）となりました。工場での休業実施、諸経費抑制等に努めたものの、減収影響に加え、半導体供給不足による直前での大幅減産により適切な生産体制の確保が困難であったことや、コンテナ不足による海上輸送費の高騰、市況変動に伴う樹脂原料の値上げ等により赤字となりました。

#### ② 北米

北米は、第2四半期までは前年同期に比べ順調に増収増益となりましたが、第3四半期だけでみると、半導体供給不足をはじめとしたマイナス要因が長期化しており、前年同期に比べ減収減益となりました。このような状況の中、売上高は、半導体供給不足の影響はあるものの、第2四半期までの新型コロナ感染拡大影響からの復旧及び新車の立ち上がり等により21,209百万円と前年同期に比べ2,198百万円（11.6%）の増収となりました。セグメント損失は、1,043百万円（前年同期は938百万円のセグメント損失）となりました。第2四半期までの増収影響及びコロナ禍において実施してきた業務の効率化等はあるものの、半導体供給不足による直前での大幅減産により適切な生産体制の確保が困難であったことや、コンテナ不足による海上輸送費の高騰、市況変動に伴う樹脂原料の値上げが長期化していることに加え、第3四半期の減収影響等により赤字となりました。

#### ③ 中国

中国は、第2四半期までは前年同期に比べ増収増益となりましたが、第3四半期だけでみると、半導体供給不足の影響等により、前年同期に比べ減収減益となりました。このような状況の中、売上高は、第2四半期までの新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により18,529百万円と前年同期に比べ2,689百万円（17.0%）の増収となりました。セグメント利益は、第2四半期までの増収影響等により1,852百万円と前年同期に比べ92百万円（5.3%）の増益となりました。

#### ④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、新型コロナ感染拡大影響からの復旧等により2,303百万円と前年同期に比べ693百万円（43.1%）の増収となりました。セグメント利益は、増収影響及びコロナ禍において実施してきた業務の効率化等により292百万円（前年同期は130百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、76,437百万円となり、前連結会計年度に比べ1,900百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の減少4,410百万円、原材料及び貯蔵品の増加3,364百万円及び有形固定資産の増加2,320百万円が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、43,155百万円となり、前連結会計年度に比べ1,530百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金の減少4,095百万円、短期借入金の増加3,454百万円及び長期借入金の増加604百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、33,281百万円となり、前連結会計年度に比べ370百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加1,882百万円、利益剰余金の減少1,443百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2021年11月12日公表の業績予想より変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,597	9,210
受取手形及び売掛金	16,707	12,296
製品	1,604	2,397
仕掛品	787	1,243
原材料及び貯蔵品	9,314	12,678
その他	1,314	2,111
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	40,323	39,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,249	10,309
機械装置及び運搬具(純額)	9,189	9,726
工具、器具及び備品(純額)	4,040	4,082
土地	3,724	3,748
その他(純額)	3,465	5,121
有形固定資産合計	30,668	32,988
無形固定資産		
特許権	187	93
その他	320	288
無形固定資産合計	507	382
投資その他の資産		
投資有価証券	2,069	1,973
繰延税金資産	354	315
その他	620	850
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,037	3,131
固定資産合計	34,213	36,502
資産合計	74,536	76,437

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,026	6,930
短期借入金	12,311	15,766
1年内返済予定の長期借入金	2,493	2,792
未払法人税等	377	224
賞与引当金	713	404
役員賞与引当金	38	27
製品保証引当金	72	102
その他	4,917	6,802
流動負債合計	31,951	33,052
固定負債		
長期借入金	5,782	6,386
繰延税金負債	194	19
退職給付に係る負債	2,801	2,748
役員株式給付引当金	26	53
製品保証引当金	91	99
その他	776	796
固定負債合計	9,673	10,103
負債合計	41,625	43,155
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	28,878	27,434
自己株式	△127	△128
株主資本合計	37,170	35,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624	540
為替換算調整勘定	△4,623	△2,741
退職給付に係る調整累計額	△260	△243
その他の包括利益累計額合計	△4,259	△2,444
純資産合計	32,911	33,281
負債純資産合計	74,536	76,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	56,514	61,810
売上原価	52,501	57,344
売上総利益	4,013	4,466
販売費及び一般管理費	4,329	5,320
営業損失(△)	△316	△854
営業外収益		
受取利息	79	114
受取配当金	60	65
為替差益	—	125
投資不動産賃貸料	49	49
持分法による投資利益	3	2
補助金収入	290	139
保険解約返戻金	53	—
その他	51	57
営業外収益合計	588	554
営業外費用		
支払利息	277	199
為替差損	132	—
その他	38	100
営業外費用合計	447	299
経常損失(△)	△175	△599
特別利益		
投資有価証券売却益	150	—
特別利益合計	150	—
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△25	△599
法人税等	473	359
四半期純損失(△)	△498	△958
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△498	△958



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△498	△958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△84
為替換算調整勘定	△679	1,882
退職給付に係る調整額	17	16
その他の包括利益合計	△709	1,814
四半期包括利益	△1,208	856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,208	856

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引については、金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響の終息時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	20,053	19,010	15,839	1,610	56,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,495	48	1,665	3,027	8,237
計	23,549	19,059	17,505	4,637	64,751
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△1,080	△938	1,760	△130	△388

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△388
セグメント間取引消去	77
その他の調整	△4
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△316

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	19,767	21,209	18,529	2,303	61,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,874	31	2,049	3,934	9,889
計	23,642	21,241	20,578	6,237	71,699
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△1,845	△1,043	1,852	292	△743

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△743
セグメント間取引消去	△114
その他の調整	3
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△854